

～ ふるさととつながり、仲間とともに“在りたい未来”を創造する建屋っ子の育成 ～

建小 NEWS

養父市立建屋小学校 学校だより
令和6年12月3日 No.21



12月10日は「人権の日」

12月4日～10日は「人権週間」

鯉のぼりが校庭を泳ぐ5月、3・4年生が心を込めて植えた「人権の花」。毎日欠かさず水やりをしてくれたおかげで、美しい花が10月頃まで咲き続けました。11月19日(火)には、「新たな花を咲かせよう」ということで、同じプランターに1年生がチューリップの球根を植えてくれました。来年の春には色とりどりのチューリップの花が咲き、新入生を明るく迎えてくれることでしょう。



11月26日(火)、神戸地方法務局豊岡支局の小林支局長から、3・4年生の児童に「感謝状」が送られました。その後、養父市人権擁護委員の皆さんによる紙芝居「ずっとともだちでいたいから」が披露され、いじめのない社会づくり、思いやりや助け合いの大切さについて学習しました。振り返りの感想やお礼の言葉をしっかり述べる子ども達に大いに感心させられた1時間でした。今週末の6日(金)には、「人権集会」が開催され、代表者による作文発表が行われる予定です。



「教科書音読・精読のススメ」

12月を迎え、職員室がにわかに慌ただしくなってきました。終業式まで残り3週間となり、学級経営(仲間づくり)も学習指導も、「まとめ」の時期を迎えています。

先日、2年生の国語の授業で、ある児童がこんなことをつぶやきました。「『おそろおそろ』の言葉の意味を、昨日は『勇気をもって』ってプリントに書いたけど、なんかちょっと違う気がしてきた。『勇気をもって』だと自分からぐんぐん近づいていく感じがするけど、『おそろおそろ』はこわがりながらという意味だから、『勇気をもって』という意味ではない気がする……。」

すばらしいつぶやきだと思いませんか。何度も教科書を読むうちに、前回自分たちが考え整理した言葉の意味と、実際に教科書で用いられている言葉との間に“微妙な違い”があることに気づき、疑問が生まれたというのです。

「では、『勇気を持って』という意味は、消した方がいい?」と尋ねると、今度は別の児童が反応し、「『勇気を持って』も大事だと思います。おそろおそろだけど、マヨネーズのようきみみたいな形のものに、自分から近づいて行っているから……。」と答えました。一人の児童のつぶやき=気づきから、新たな発見や深い学びが生まれた瞬間でした。



家庭学習(宿題)の中で何気なく行っている「教科書の音読」も、目的意識をもって取り組むことで、大きな力になります。1回目よりも2回目、2回目よりも3回目の方が、多くの気づき・発見があるからです。読み重ねていくうちに物の見方や考え方が深くなり、理解も深まります。間違えないように正確に読むことも大切ですが、読んで気づいたことや考えたことを、メモ(ノートに記録)していくことも大切な学習です。低学年のお子さんの場合、音読チェックをしてくださる時に、ひと言二言、言葉のキャッチボールをされてみてはいかがでしょうか。子ども達の「読むこと」への関心がぐんぐん引き出されるはずですよ。

■4年社会見学 ①青谿書院で池田草庵先生について学ぶ

②南但クリーンセンターで「ゴミ処理の仕組み」について学ぶ 11月8日(金)



北垣国道が青谿書院
で学んでいた頃のこ
とを、紙芝居で学習



■3年社会見学 ①マックスバリュ養父店 ②南但消防本部 ③南但馬警察署 11月19日(火)

※養父小、広谷小の児童と一緒に見学。楽しくお弁当も食べました。



■第2回PTA資源リサイクル回収 11月17日(日) 寒い中、大変お疲れ様でした。



■「お話レストラン」聞いてみたいお話の部屋を一つ選び、ボランティアさん&先生方に読み聞かせをしていただきました。※読み聞かせボランティア:佐藤・荒木・村上・佐谷・松井・松下さんの6名



本って楽しいね



11月25日(月)

